

平成25年度第1回

中小企業景況調査報告書

平成25年4月～6月期報告
平成25年7月～9月期予測

千葉県商工会連合会

中小企業景況調査報告書

平成25年4月～6月期

調査要領

1. 調査対象

(1)対象地域

11商工会地域 千葉市土気商工会、鴨川市商工会、鎌ヶ谷市商工会、富津市商工会、南房総市内房商工会、匝瑳市商工会、いすみ市商工会、酒々井町商工会、栄町商工会、多古町商工会、長柄町商工会

(2)対象企業数 165企業(11商工会×15企業)

(3)回答企業数 165企業

2. 調査対象期間 平成25年4月～6月を対象とし、調査時点は平成25年5月24日～6月3日である。

3. 調査方法 商工会の経営指導員による訪問面接調査。

(1)産業別構成

業種	回答企業数	構成比(%)
製造業	28	17.0
建設業	31	18.8
小売業	46	27.9
サービス業	60	36.3
合計	165	100.0

(2)業種別構成

① 建設業

業種	回答企業数	構成比(%)
総合工事業	15	48.4
職別工事業	7	22.6
設備工事業	9	29.0
合計	31	100.0

② 製造業

業種	回答企業数	構成比(%)
食料品製造業	6	21.4
プラスチック製品製造	5	17.9
印刷・同関連業	1	3.6
窯業・土石製品製造業	1	3.6
金属製品製造業	5	17.9
生産用機械器具製造業	4	14.3
業務用機械器具製造業	2	7.1
電気機械器具製造業	1	3.6
その他の製造業	3	10.7
合計	28	100.0

③ 小売業

業種	回答企業数	構成比(%)
各種商品小売業	1	2.1
織物・衣服・身の回り品小売業	5	10.9
飲食料品小売業	16	34.8
自動車・自転車小売業	3	6.5
家具・建具・じゅう器小売業	5	10.9
その他小売業	16	34.8
合計	46	100.0

④ サービス業

業種	回答企業数	構成比(%)
一般飲食店	25	41.7
宿泊業	6	10.0
運送業	3	5.0
自動車整備業	7	11.7
洗濯・理美容業	12	20.0
その他のサービス業	7	11.7
合計	60	100.0

本報告書中の[DI値]とあるのは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転、上昇)企業割合から、減少(悪化、低下)企業割合を差し引いた値を示すものである。

I. 県下中小企業の景況

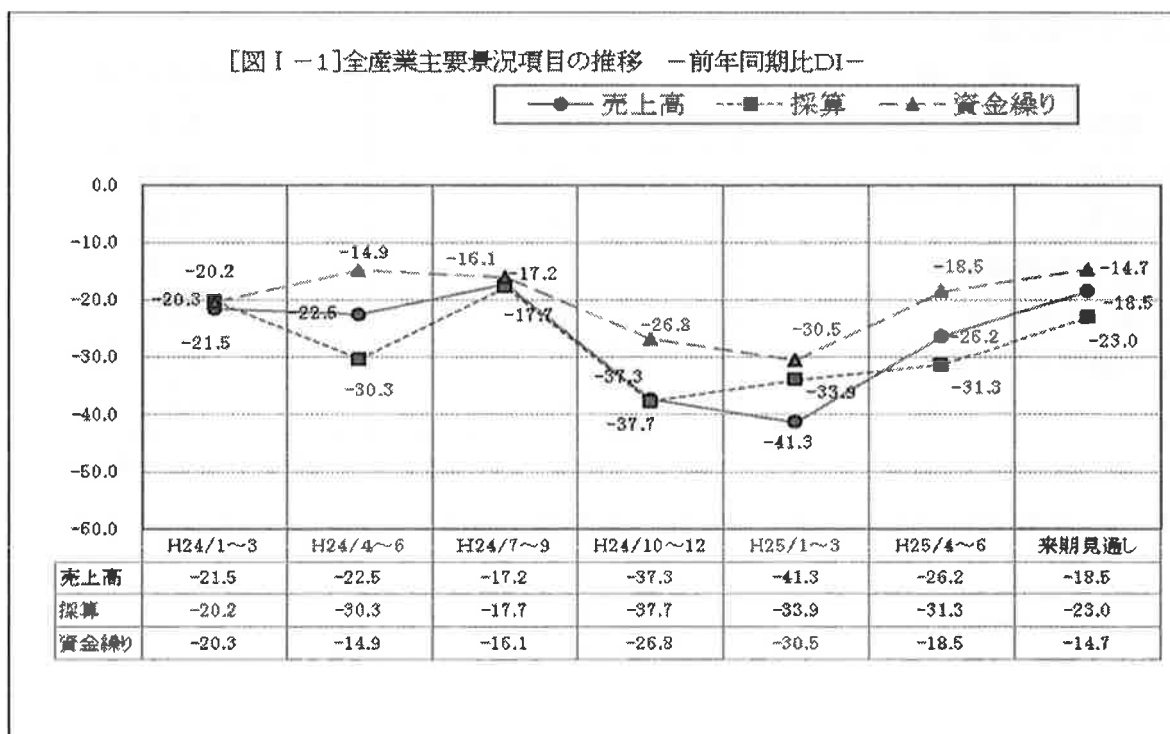
“年明けからの復調傾向続くも、昨年同期には及ばず”

千葉県商工会地区の平成25年4～6月期の中小企業景況調査結果によると、産業全体の景況感は、[図I-1]に示したとおり、今期売上高DI値は-26.2で前期（平成25年1～3月期 -41.3）比15.1ポイント改善、同採算DI値は-31.3と前期（-33.9）比で2.6ポイント改善、同資金繰りDI値は-18.5と前期（-30.5）比で12.0ポイント改善しており、数値的には政権交代後の経済立て直し策が小規模事業者にも浸透しつつあることを伺わせる結果となっている。

一方、前年同期（平成24年4～6月期）調査と比較してみると、売上高DI値は、前年同期（-22.5）比で3.7ポイント悪化、同採算DI値も前年同期（-30.3）比で1.0ポイント悪化、資金繰りDI値は前年同期（-14.9）比で3.6ポイント悪化しており、昨年後期の低迷からは復調途上の状況といえる。

来期（平成25年7～9月期）の見通しについて、全産業では売上高DI値が-18.5、採算DI値は-23.0、資金繰りDI値は-14.7となっている。この来期の見通しを業種別でみると、はっきりと回復基調を辿っているのは建設業だけで、製造業は採算が横ばいである以外は悪化傾向を示しているほか、小売業、サービス業は改善傾向を示しながらも一部指標が悪化しており、経済同様に先行きの不透明さを象徴する予測となっている。














このように、今期は中小企業の景況感は上向いたものの、消費マインドの本格的な回復にはいたらず、円高や海外経済の下振れリスク等も依然として解消されていないことが伺える。また、例年4月～6月期は年度始めということもあり、景況が良く出る傾向もみられるため、景況改善に持続性があるのかどうか、景況の動向はしばらく注視する必要がある。



Ⅱ. 各産業の景況

1. 製造業の景況

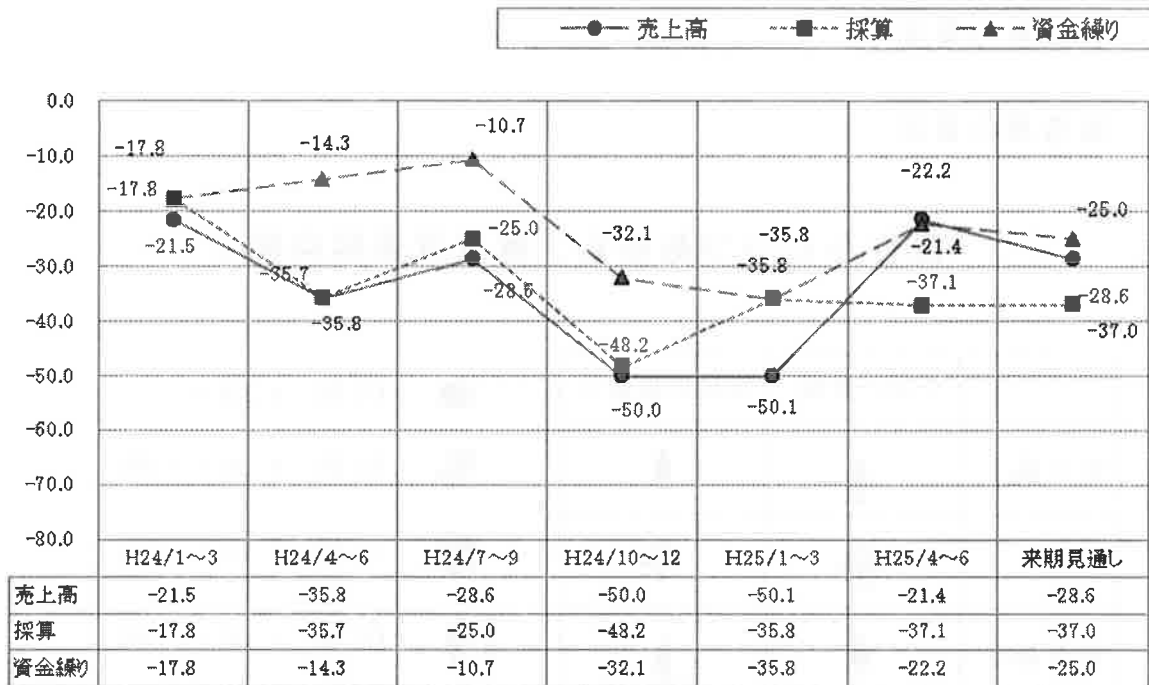
“底打ちしつつあるも、景況低迷傾向続く”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

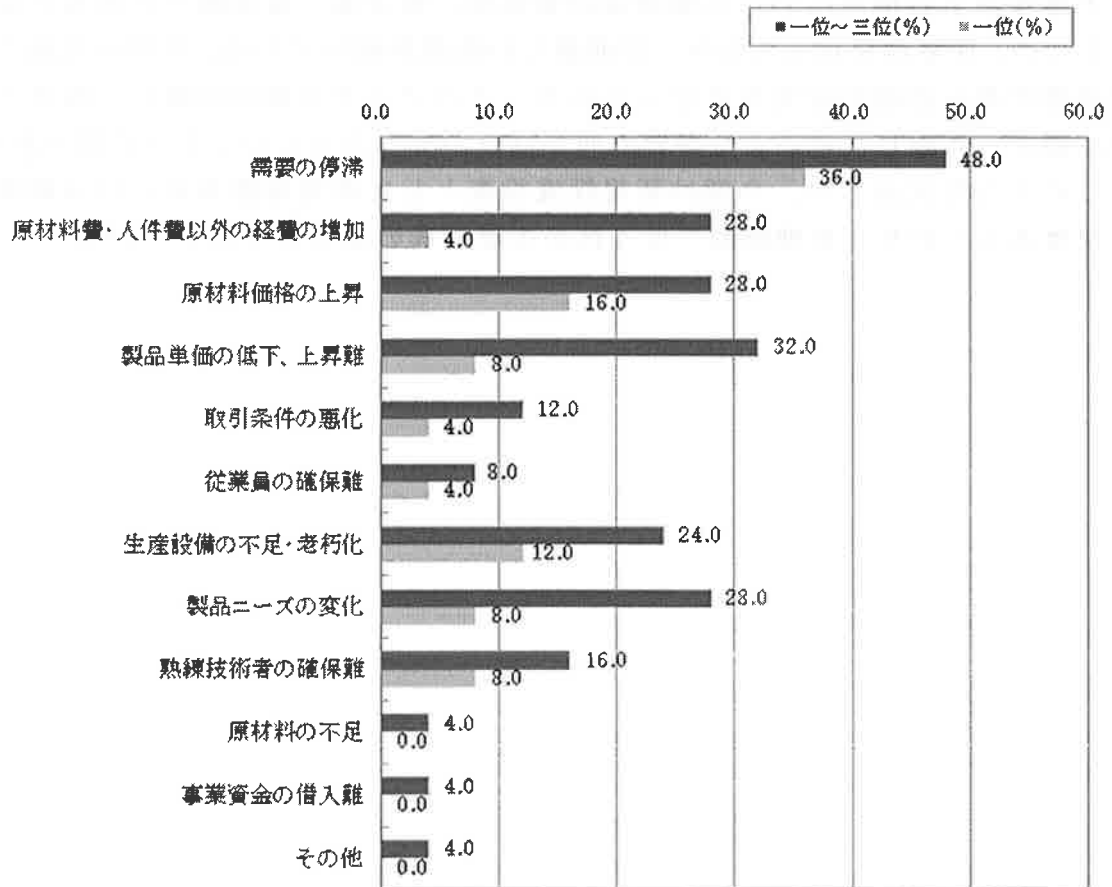
千葉県商工会地区における製造業の景況は、売上高、資金繰りに改善が見られたものの、採算は悪化しており、以前厳しい状況が続いている。今後の見通しも、全業種中最も悲観的な見方となっており、アベノミクス効果以前に、海外との競争に晒される厳しさ等による需要の伸び悩みがそうさせているように思われる。

このような状況の中、今期は新規設備投資として車両運搬具及びOA機器を各1社導入しており、来期計画では4社が生産設備の導入を予定している。

[図II-1] 製造業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI -
















[図II-2] 製造業 経営上の問題点の状況



2. 建設業の景況

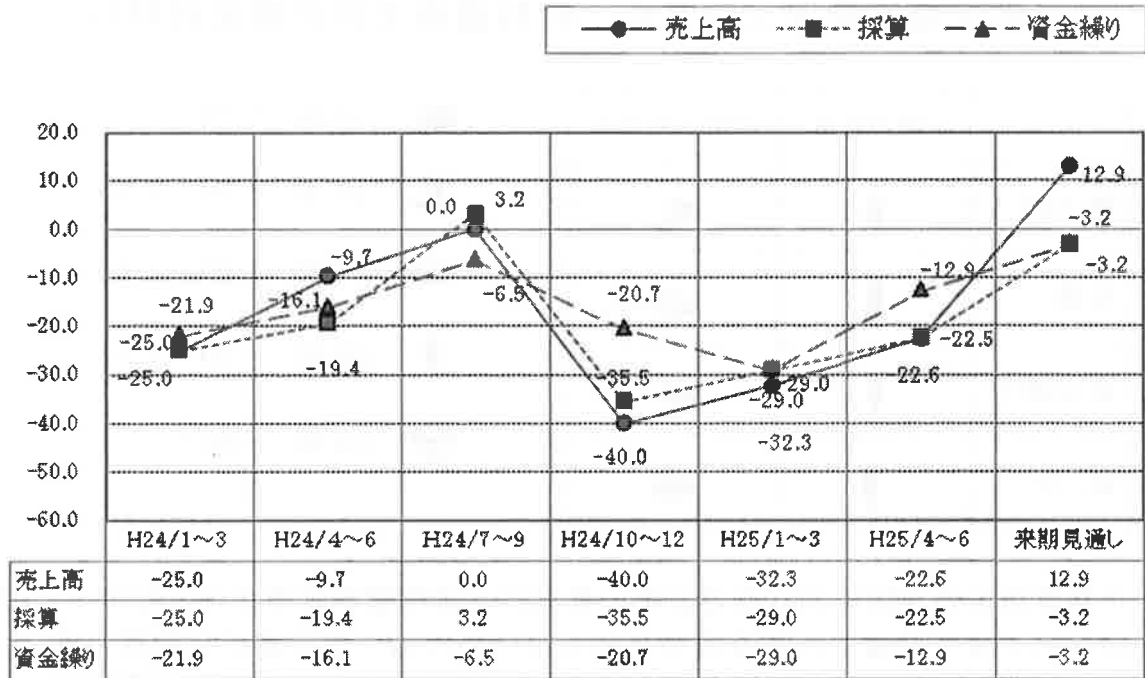
“受注増で景況上向きも、材料価格上昇が懸念材料に”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

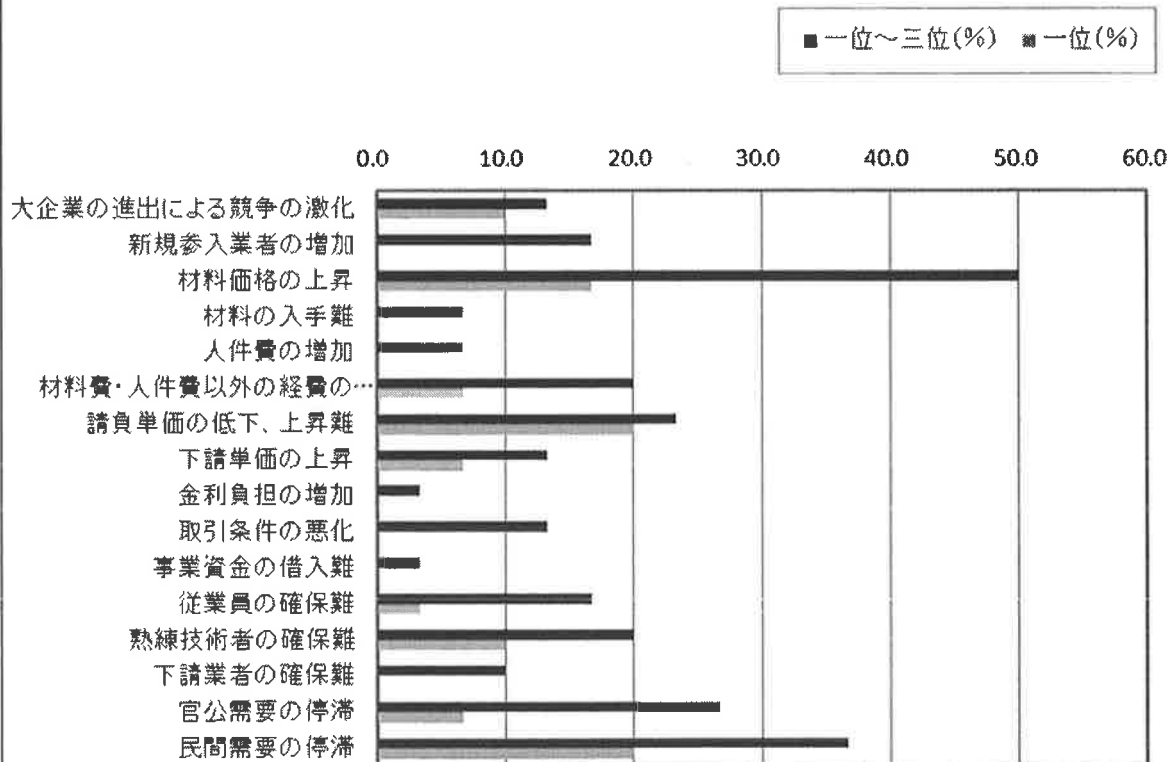
千葉県商工会地区における建設業の景況は、全指標が改善され、昨年1～3月期と同レベルまで回復した。今後の見通しについても、売上高が全業種中唯一プラスのDI値に転じるなど、最も上向き感が顕著な業種となっている。しかし、需要の停滞感を訴える事業者も数多く、材料価格の高騰と相まって、景況感の良化が実感できないだけでなく、先行きの不透明感も垣間見える。

新規設備投資については、4社が車両運搬具を導入し、来期計画では車両運搬具、建物、付帯施設、OA機器の順で導入を予定しているとの回答があった。

〔図Ⅱ-3〕建設業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-
















「図表Ⅱ-4」建設業 経営上の問題点の状況



3. 小売業の景況

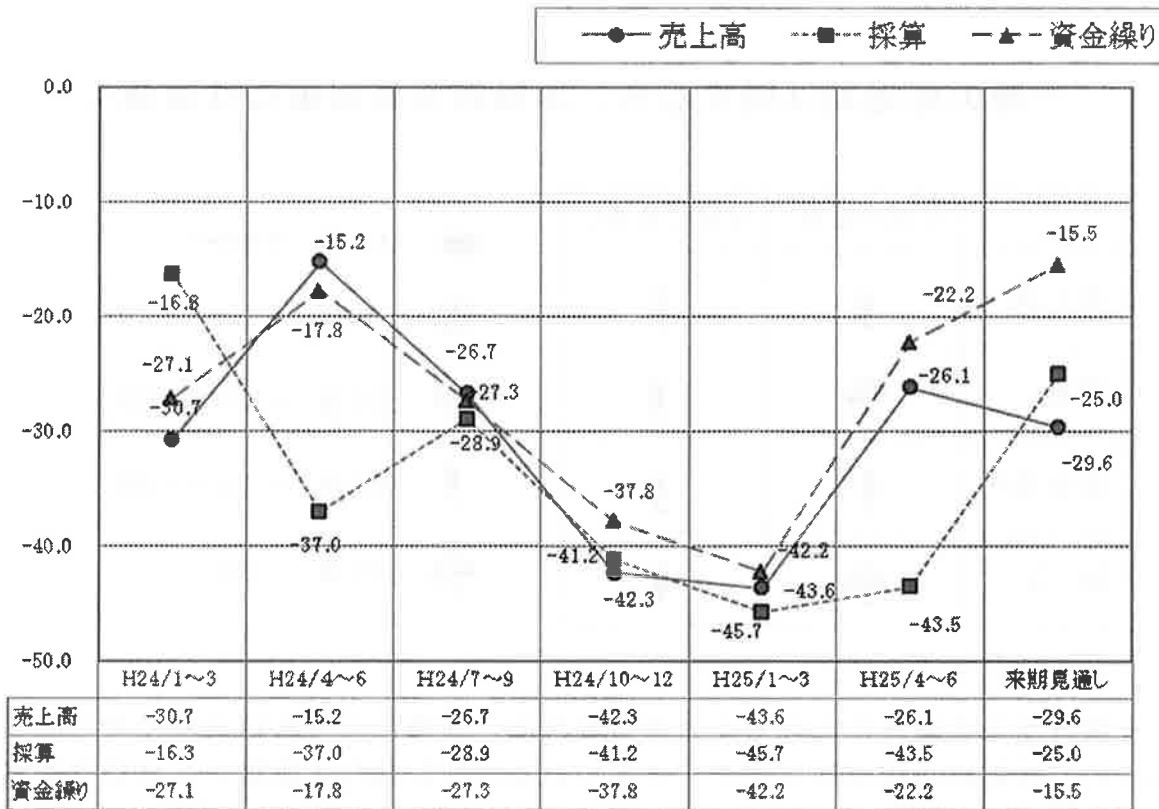
“一時の低迷期は脱するも、本格的消費回復には道遠く”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総 合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

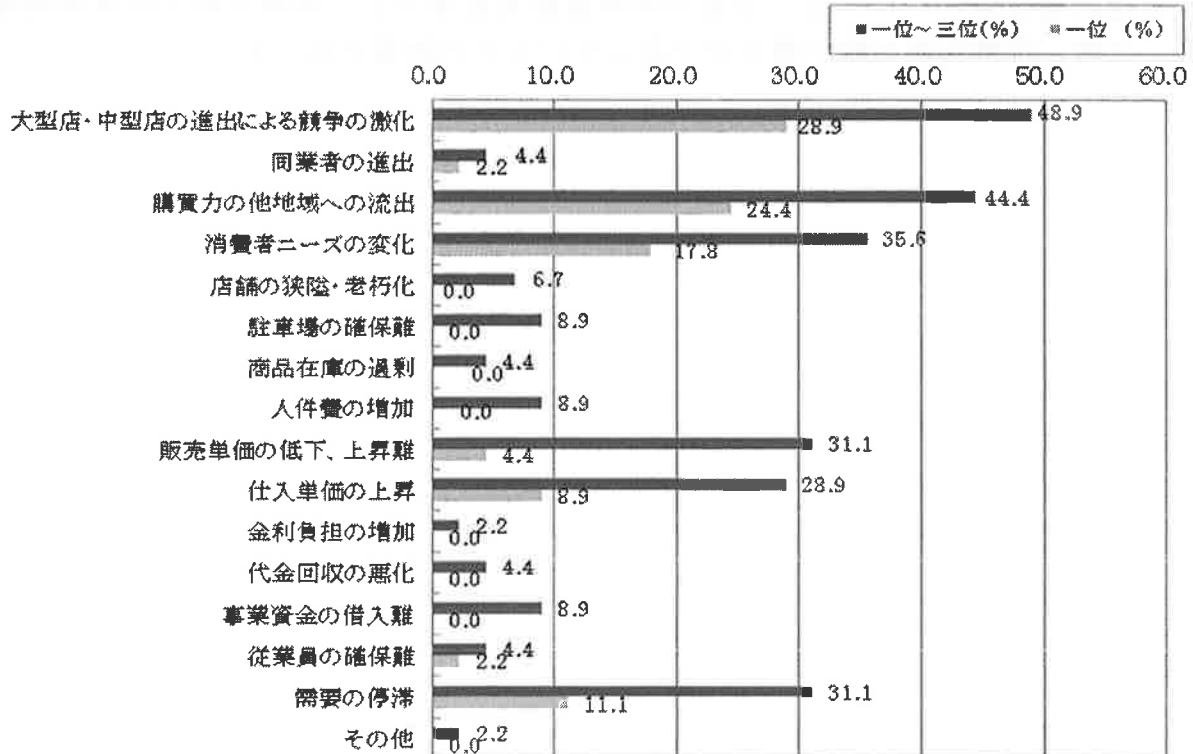
千葉県商工会地区における小売業の景況は、前期に比べれば大幅に持ち直したものの、採算は小幅な回復にとどまっている。これは仕入価格上昇と消費者がまだ低価格志向をひきずっている点が影響していると思われる。今後の見通しについては、採算は持ち直すが売上は伸び悩むと予測しており、はっきりとした回復基調にあるとは言い難い。

新規設備投資については、3社が車両運搬具を導入し、来期計画では車両運搬具、店舗、付帯施設の順で導入を予定しているとの回答があった。

[図II-5]小売業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-
















[図II-6]小売業 経営上の問題点の状況



4. サービス業の景況

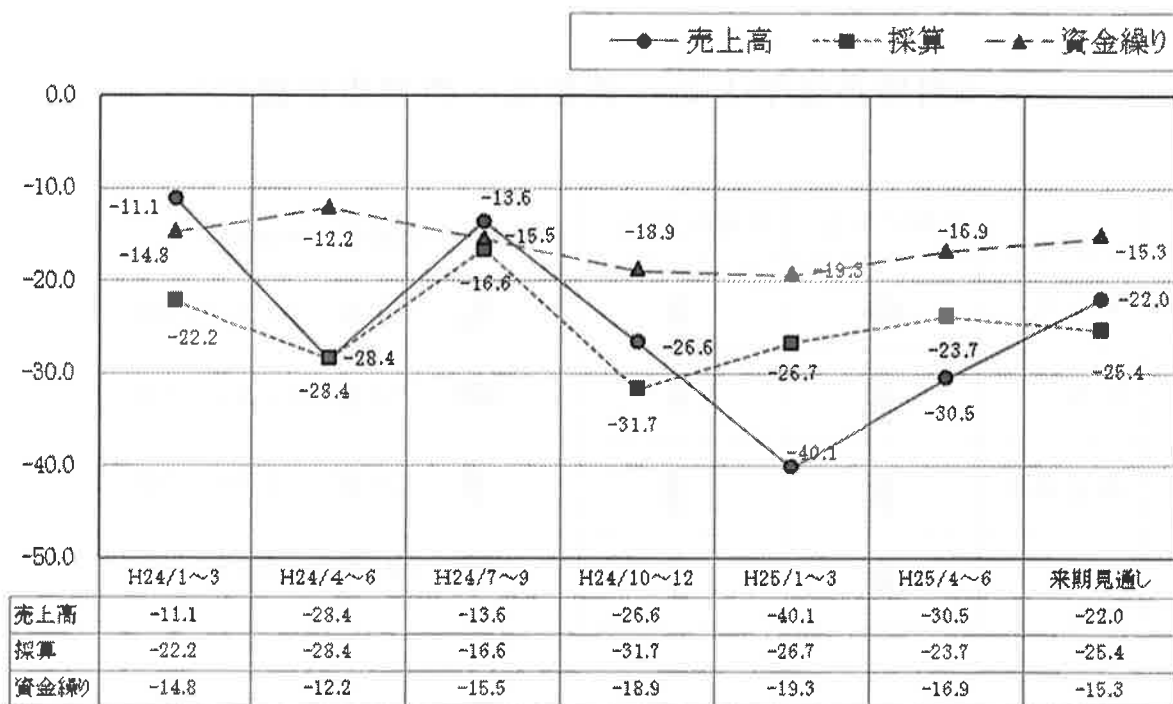
“利幅の低下とニーズ変化への対応が鍵に”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

千葉県商工会地区におけるサービス業の景況は、全指標で改善がみられ、半年前の水準に戻った形となっている。来期の見通しも概ね回復と予測されているが、需要停滞感が依然として強く、ニーズ変化への対応や単価減、仕入価格上昇など懸念材料やマイナス要因は数多い。

新規設備投資については、建物、車両運搬具、OA機器、土地の順で導入実績があり、来期計画では車両運搬具、OA機器、建物、土地等の導入について回答されている。

〔図Ⅱ-7〕サービス業主要景況項目の推移 ー前年同期比DIー



〔図Ⅱ-8〕サービス業 経営上の問題点の状況

